

平成30年7月18日（水曜日）

4年生

中野七頭舞



4年生が運動会の表現で踊る予定の「中野七頭舞」。
その踊りの起源は、五国豊穰の祈りだったという説明を聞きました。
動き方や使う道具などにも意味があることを教えてもらいました。



特別講師もお招きしての練習会となりました。
講師の先生の軽やかな太鼓のリズムに合わせて、先生方がお手本を示します。
「中野七頭舞」とはどのような踊りなのか、子供達は興味津々です。



迫力の演舞にびっくり！

太鼓のリズムに合わせて手や頭を小刻みに動かす子もいました。
子供達の顔には、期待感と不安感が入り交じったような表情が見られました。





子供達から感想を聞きました。

二人で太刀を動かすとき、戦っているみたいな動きに見えました。

太鼓のリズムだけで踊るのは難しそうに思えたけど、見ているうちになんだかできそうな気がしてきました。

足や腰の動きが大きくて、少し大変そうだけど、踊ってみたくくなりました。

いよいよ、練習開始です。
この踊りの中で難しい足の動きから順番に練習していきます。

しっかりと腰を落として、膝を外に開く姿勢をとります。この姿勢を保っているだけで汗がポタポタと垂れてきます。でもどの子も一生懸命でした。

リズムに合わせて足を上げたり、回ったりという基本的な動きを練習しました。

…これからどのように動きが洗練されているのか楽しみです。

